

2020年11月30日

Peach Aviation 株式会社

Peach 初のチャーターフライトを実施 ～次世代の航空業界を担う子どもたちに「空飛ぶ航空教室」を開催～

- ・ チャーターフライトに関西航空少年団が搭乗
- ・ 関西空港発着、瀬戸内海、九州、四国を巡る2時間のフライト
- ・ 機内でパイロット、客室乗務員、運航部門スタッフによる航空教室を開催



Peach Aviation 株式会社(以下: Peach、代表取締役 CEO: 森 健明)は、2020年11月29日に関西航空少年団(以下、関西団)を用機者とするチャーターフライトを実施しました。Peach がチャーターフライトを実施したのは2012年3月1日の就航以来初めてです。

本企画は、日頃から航空教室や職場見学などを通じて交流のあった関西団からの「チャーターフライトでPeachを応援したい」との提案がきっかけとなり実現しました。関西空港から瀬戸内海、福岡、熊本県と鹿児島県の県境を経て四国の足摺岬、室戸岬を経て関西空港に戻る約2時間のフライトとなりました。

チャーターフライトの実施に先立ち、去る11月18日には関西空港にて運航管理者による事前学習会を開催しました。運航管理の業務紹介や実際に搭乗するチャーター便のフライトプラン(飛行計画)の作成体験など、航空業界を目指す子どもたち向けの本格的なプログラムを用意しました。

当日は関西団をはじめとする関係者を含め総勢126名が搭乗し、出発前には関西エアポートとPeachのスタッフが検温やソーシャルディスタンスの確保、チェックイン機の除菌など、空港で取り組んでいる感染対策を紹介しました。また、本フライトでは講師役を務めるパイロット、客室乗務員、運航管理者が搭乗し、操縦の解説や飛行ルート上の地理を確認し合う「空飛ぶ航空教室」を実施しました。当日の様子については次頁をご覧ください。

Peachはこれからも「空から、新しいかけ橋を。」をテーマに事業を推進し、感染対策を大前提に機内や空港、イベントなど、お客様とのあらゆるタッチポイントを通して、さまざまな施策やサービスを展開してまいります。

<感染対策の取り組み紹介>



関西エアポート、Peach スタッフによる感染対策のご説明

<出発時のお見送り>



当該便のお見送り

<空の航空教室>



講師役を務めた Peach スタッフによる航空教室



航空教室に参加する関西団

<到着時のお出迎え>



放水アーチでお出迎え



集合写真

<関西航空少年団について>

航空少年団は、“かぎりなくひろがる大空”に希望をいだき、航空および宇宙の基礎的な勉強をしたり、新しい航空機や、航空の安全を守るいろいろな施設の見学、さらに体験飛行などを通じて、航空や宇宙の知識を深めるとともに、航空が大好きなお友達と一緒に、規則正しい団体生活をとおして楽しみながら、いろいろな行事を行い、心身をきたえて航空人を始め、りっぱな社会人を育てようとする青少年の団体です。詳しくは以下のウェブサイトをご覧ください。

⇒ <https://sfakansai.jimdofree.com>